



青木の風

生きる 創る そして輝く

学校だより 4月号

令和8年4月7日

横浜市立青木小学校

心に期して迎える 新しい春

校長 杉山 嘉子

希望に満ちた春。令和8年度、青木小学校153年目の春です。お子様の御入学、御進級、おめでとうございます。

期待を膨らませて今日の始まりの日を迎えられたことと思います。新たに127名の新1年生を迎え、全校児童808名で令和8年度がスタートしました。新入生たちは、青木小学校の伝統あるこの正門に入り、本日入学式を迎えました。

昨年度3月19日には、卒業生である6年生が立派に卒業式を終え、この門をくぐり、新たな一步となる、まさに「門出」となりました。卒業生である6年生と在校生代表として出席した5年生とで創り上げた卒業式は、心打つ素晴らしいものでした。「生きる 創る そして輝く」という本校の教育理念のもと、地域、保護者の皆様に支えられ成長し、それを体現した子どもたちの姿でした。

入学式、卒業式の一年に二度だけ開かれる本校の正門には、青木小学校で自ら学び成長していくことへの期待、そして青木での学びを土台にたくましく生きていくことへの願いがこめられ、脈々と受け継がれているように感じます。

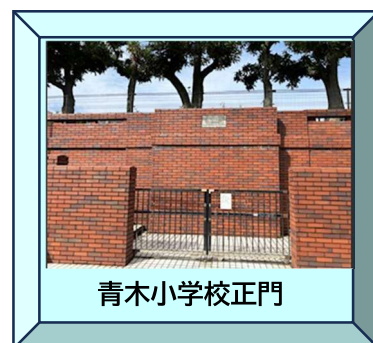
私は、2年前に青木小学校に赴任し、そして今年度は青木小学校の校長を務めることとなりました。青木小学校の子どもたちは、人とかがわることが大好きで、毎日の学習も学校行事でも自分のもっている力を出そうとする素晴らしい子どもたちです。毎日のように様々なドラマや感動があり、「ありがとう」のタネも数多く転がっています。そのタネをキャッチし、地域・保護者の皆様にも学校だより等を通して素敵な姿をお伝えしていきます。また、「まち」の人たちと接する機会をつくり、「青木のまちのよさ」を感じ、「まち」を好きになる、そして青木のまちからも愛される、そんな子どもたちが育つ学校をめざして、精一杯努力してまいります。

今年度は、中期取組目標（3か年計画）の最初の年となります。教職員の力だけではその目標の達成に向かうことはできません。学校・地域・保護者・関係機関が「チーム青木」として、一体となって子どもたちを育てていけますよう、引き続き温かな御支援と御協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

最後にこの春、本校を去られた17名の教職員の皆様に感謝を申し上げます。青木小学校の子どもたちのために、熱心に御指導、御支援をいただき、本当にありがとうございました。

そして、新しく青木小学校の一員になった教職員も力を合わせて、まちを愛する子どもの育成をめざして努力をしてまいります。これからも青木小学校への応援をいただけたら幸いです。

本年度もどうぞよろしくお願いいたします。



青木小学校正門



1942 (S.17) 年 正門
出典：青木記念館